

ISPOG ニュース

第18回 International Society of Obstetrics and Gynecology (ISPOG2016) が5月12日(木)から14日(土)までスペイン・マラガで開催されました。「無事終了しました」と書きたいところだったのですが、さすがラテン系というか、とにかくアバウトで、日本人の気質ではかなりストレスのたまる学会でした。私が羽田を出発した5月10日に最終プログラムがメールで届き、会場でも抄録集の配布はなし。ランチョンセミナーなどというものは形もなく、1時間半の時間でどこかで食べてこいというシステムでした。初日の開始が8時半からということで、8時少し前にポスターを貼りに行ったのですが、スタッフは誰もおらず、registration deskのお姉さんも「9時までには来るはず」という日本では考えられない対応でした(結局、担当者が来たのは9時半でした)。ただ、初日までは雨も降っていてイライラしていましたが、2日目以降は澄んだ青い空と海、気持ちの良い風のせいか、慣れてしまったのが、不思議でした。Japan symposiumのお疲れ会も兼ねて本庄理事長以下9名でランチに行ったのですが、グラスワインが1杯付いているにもかかわらず、さらにボトルを頼み、それも飲み干して、2本目をオーダーしたところ、ウェイトレスに「Oh my God!」と言われてしまったぐらいです。

今回、日本からはJapan symposiumでの4名の先生方のご発表に加えて、プログラムから数えると1名1演題の口演、18名20演題のポスター発表があり、20名以上の参加があったようです。Japan symposiumは1日目の10時から11時半までの90分でしたが、外国人14名を含めて、30人以上の参加があり、外国人からの質問も多く、お世辞抜きで盛り上がりました。

とにかくISPOGのメンバーはフランクで、居心地のよい学会です。下記のとおり、次回のISPOG2019はお隣の韓国で、2019年5月10日から12日の予定だそうです。ぜひ今から予定に入れておいていただければと思います。

<Executive Committee (ExCo) meeting 報告>

学会前日の11日の夕方にExCo meetingが開催されました。17カ国から25名が出席しましたが、これまで参加していなかったウクライナ、クロアチア、スロベニア、トルコ、米国などからも代表が来ており、この3年間のISPOGの努力の結果が見えた感じでした。

1) President report's

これについては直近のNewsletterの内容と変わらないということでした。

2) Secretary General's report

昨年3月のWeb担当者の突然の死去に伴い、止まっていたWebについて、Ms. Bianca Scarlettを管理者として、再構築したそうです。<http://223.130.24.111/~ispog.org/>に仮サイトが立ち上がるとのことでした。

雑誌(Journal of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology ; JPOG)については、既にご存じのとおり、Taylor & Francisに移管しました。各国の学会会員であれば登録することにより、40

ユーロ/年でInternet上から論文にアクセス,ダウンロードできるようになっているとのことです.

もう一つのコミュニケーションツールとしているNewsletterについては8~9月頃に発行予定であり,さらにTwitterやFacebookの活用も考えているとのことでした.前PresidentのDr. Karen Marieke PaarlbergがTwitterにハッシュタグ“ISPOG2016”で今回の学会について投稿し,これをきっかけに上げたいと話していました.

3) Treasure's report

年間の予算規模は400万円ほどで,繰越金の増減はあるものの黒字基調ということでした.

4) Report from Editors of JPOG

現在の2名のEditorがこの秋を目途に交代するとのことでした.ただ,次のEditorは決まっておらず,ぜひ立候補・推薦をお願いしますということでした.希望者がいらっしゃれば日本女性心身医学会事務局までご連絡ください. ISPOGに連絡いたします.

5) 新 Officer と新 President の方針

いわゆる執行部とも言うべき Officer の任期は前回の ISPOG congress 終了後から今回の congress 終了までということなので,新 Officer の選出があり,以下のように決まりました.

President : Prof. Sibil Tschudin (スイス)

Secretary General : Prof. Heather Rowe (オーストラリア;留任)

Treasurer : Dr. Vivian Pramataroff-Hamburger (ドイツ)

President-elect : Dr. Leroy Edozien (イギリス)

新しい President は3年間の目標として,以下の5項目が挙げていました.

- ①女性心身医学の確立
- ② JPOG のインパクトファクターを上げる
- ③学会のガバナンスの整備
- ④ ExCo meeting の活性化
- ⑤ ISPOG に参加していない国へのアプローチと他の学会とのコラボレーションを進める

この目標を達成するために,

- ① Web サイトの再構築と活性化
- ② ISPOG 参加各国の National Society との連携強化
- ③若い研究者の育成
- ④ガイドラインやステートメントなどで他の学会と連携
- ⑤メディア (Twitter, Facebook, LinkedIn など)

を考えており, これらを達成するために, いままでなかった position として,

International Relation : Dr. Dov Feldberg (イスラエル)

Education : Dr. Jonathan Schaffin (アメリカ), Dr. Jacqueline Pieters (オランダ) と

Social Media 担当の役職を作ることになりました. Social Media については, 募集中とのことでした. さらに Committee にこれまで弱かった分野である Perinatology と Fundraising の担当も検討しているそうです.

新しい President は痩せていますが、エネルギッシュな女性で、これらの目標達成にける熱い思いが伝わってくるプレゼンテーションでした。

6) ISPOG2019

ExCo meeting には韓国の代表は来ていませんでしたが、前述のとおり、2019年5月10日から12日まで、韓国・ソウルで開催予定です。会期中にお会いした韓国の Dr からは、Prof. Kim を会長とし、今のところソウル市内にある大学の講堂を予定しているとのことでした（すいません、Kim 先生が何人かいて、どの Kim 先生か分かりませんでした）。日本から多くの参加者を期待していること、Japan symposium だけでなく、Asia 各国との Workshop のようなものもお願いしたい、とのことでした。

7) ISPOG2022

2022年に開催予定の次々回の ISPOG2022 は英国・マンチェスターでの開催が決まりました（個人的にはプレミアリーグが見られるのではと期待しています）。会期は2022年3月を予定していることです。

<ISPOG へご入会ください>

現在、ISPOG は、19カ国のアクティブな女性心身医学会あるいは関連学会と個人会員（国内学会がない国の場合）から成り立っています。

年会費は JSPOG の会費とは別に年8ユーロです。（JSPOG としては、振り込み手数料その他を考慮し、3年分4,000円をまとめて徴収します。）ISPOG 2007 が日本で開催され、日本の女性心身医学が世界に通じることが分かりましたが、さらにわが国の女性心身医学の現状を世界に誇るためにも一人でも多くの入会をお願いいたします。

入会については事務局（jimukyoku@jspog.com）までご連絡ください。折り返し入会に必要な事項につきご連絡いたします。なお、学会 HP からオンラインでのお申込みも可能です。

ISPOG に関する質問は学会 HP（<http://www.jspog.com>）の FAQ のページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

<Journal of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology (JPOG) 購読希望について>

ISPOG の機関誌である JPOG の購読については、ISPOG の会員国の場合、それぞれ国内学会会員であれば割引となります。従来は冊子でお届けしていましたが、2014年よりオンラインとなり、年間40ユーロ（USD52/GBP32）で購読いただけます。購読を希望される方は事務局（jimukyoku@jspog.com）までご連絡いただければ購読方法をお知らせいたします。お一人でも多くの方の購読をお願いします。

また、JPOG はインパクトファクター 1.862 もある雑誌です。多くの先生方の投稿をお待ちしております。

（文責：高松 潔）

<Journal of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology (JPOG)
Volume 37, Issue 2 目次>

【Vol. 37】 (2016)

Original Articles

Treatment of nulliparous women with severe fear of childbirth via the Internet :
a feasibility study 37p

Katri Nieminen, Gerhard Andersson, Barbro Wijma, Elsa-Lena Ryding & Klaas Wijma

Research Article

Decision-making regarding place of birth in high-risk pregnancy : a qualitative study 44p

Suzanne Lee, Susan Ayers & Des Holden

Original Articles

Autonomic nervous system activity and anxiety and depressive symptoms in mothers up
to 2 years postpartum 51p

Mie Izumi, Emiko Manabe, Sayo Uematsu, Ayako Watanabe & Toshio Moritani

Anxiety and depression in patients with advanced ovarian cancer : a prospective study 57p

Piotr Mielcarek, Katarzyna Nowicka-Sauer & Joanna Kozaka

Short Communication

Muscle strengthening exercises during pregnancy are associated with increased energy and
reduced fatigue 68p

Christie Ward-Ritacco, Mélanie S. Poudevigne & Patrick J. O'Connor

Corrigendum 73p